

1 専門教育科目の構成

1. 英文学科の教育目的

英文学科では、実践的な英語運用能力を伸ばすこととともに、英語学、英米文学・文化の専門領域研究を通して、自らの視野、価値観を広げ、新しい可能性を発見することを目的としている。学内外における語学研修や英語活動の実施や支援を行い、国際理解の立場に立って、自分と異なる価値観を持つ人と意見の交流ができる人材を育成する。

英語を軸とした教育に加え、時代の要請に即したセミナーや講演会を実施し、英語教師はもちろん、一般企業等において活躍できる人材を育てる。また、国内外の大学院進学も可能であり、そのための専門領域研究の指導や支援を行う。

2. 英文学科の特徴

1、2年次は、確かな英語基礎能力の育成と、専門領域の導入を主たる目的としている。3、4年次にも上級レベルの英語基礎科目を設定し、4年間を通して、英語力を高めることができる。実力をはかる目安として毎年「カレッジ TOEIC」を実施し、所定のスコアを満たした者には単位を認定する。

専門領域においては、3年次から「英語学コース」か「英米文学・文化コース」を選択し学修する。英語学コースでは言語運用を可能にしている言語知識が、どのような性質を持ち、どのように発達し、どのように使用されるのかを多方面から学ぶ。また、ここで得られた知識は、英語教育関連科目の基盤となる。英米文学・文化コースでは、文学作品とその背景にある地域の歴史や文化等を学びながら、人間の本質の解明をめざし、複数の研究領域にまたがる考察により、複眼的な視野を養うことを目標としている。

また、長・短期の海外研修制度があり、いずれも研修先の学修内容を英文学科専門科目の単位として認定できるようになっている。

3. 教育課程の特色

英文学科の専門教育科目は次の3つの科目群から成り、学年進級とともに、内容が初級から上級、基礎から応用となるように配置されている。

- ①英語基礎科目
- ②英語学コース専門科目
- ③英米文学・文化コース専門科目

①は、4年間全員が履修できる英語基礎科目である。この科目で英語力を養いながら、②と③の専門科目において専門性を高められるように構成されている。1、2年次開講のコース専門科目は、コース選択前の基礎科目で、3年次のコース選択の参考とするよう配置されている。そのため、1、2年次は両コースの科目をバランスよく履修することが望ましい。3、4年次は選択したコースの科目履修が中心となるが、セミナー科目以外であれば、他コースの科目を履修することができる。

2 履修方法

◆卒業要件単位

卒業するためには、以下の要件を満たし、合計 124 単位以上履修しなければならない。

1) 一般教育科目

一般教育科目は 38 単位以上履修すること。その科目内訳は以下のとおり。

●必修科目 (計 38 単位)

- 1 年次：「キリスト教学」、「基礎演習」、「日本語演習」、「女性と人権」、「自然科学入門」、「音楽の世界」、「リベラルアーツ基礎A」、「リベラルアーツ基礎B」
第二外国語はドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語のいずれかを選択（「ドイツ語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「ドイツ語リテラシーⅠ・Ⅱ」または「フランス語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「フランス語リテラシーⅠ・Ⅱ」または「中国語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「中国語リテラシーⅠ・Ⅱ」または「朝鮮語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「朝鮮語リテラシーⅠ・Ⅱ」）
「体育実技」
- 2 年次：「生活と福祉」、「リベラルアーツ基礎C」、「リベラルアーツ基礎D」、「リベラルアーツ総合A」
- 3 年次：「キリスト教と現代社会」、「リベラルアーツ総合B」、「リベラルアーツスタディーズA」、「ライフワーク論」
- 4 年次：「リベラルアーツスタディーズB」

●選択科目

- 1 年次：「情報処理」
- 2 年次：「体育講義」
- 3 年次：「日本国憲法」
- 4 年次：「キャリア形成論」
- 1～4 年次：「シーズンスポーツ」
- 2～4 年次：「スキルアップドイツ語」、「スキルアップフランス語」、「スキルアップ中国語」、「スキルアップ朝鮮語」、「スポーツ」
- 2～3 年次：「実践フランス語Ⅰ」、「実践中国語Ⅰ」
- 3～4 年次：「実践フランス語Ⅱ」、「実践中国語Ⅱ」

2) 専門教育科目

専門教育科目は、以下の要件とキャリア科目キャリアデザイン (2 単位) の要件を満たし合計 78 単位以上履修すること。

- (a) 所属するコースから 36 単位以上履修すること。
(※卒業研究の単位も含まれる)
- (b) 所属するコースの〈基礎セミナーⅠとⅡ〉は必ず履修し、学年末に英文のタームペーパーを提出すること。
- (c) 所属するコースの〈研究セミナーⅠとⅡ〉を 4 単位以上履修すること。研究セミナーは同年次に複数履修できる。年次が異なれば同じ担当教員のセミナーも履修できる。
- (d) 4 年次には、〈卒業研究セミナーⅠとⅡと卒業論

文)のほかに、英文学科専門教育科目4年次開講科目のなかから4単位以上履修すること。

- (e) 卒業論文は、学年末1月の指定された日時までに、英文の場合は4000語程度、和文の場合は16000字程度の論文を提出すること。フォーマットの詳細は指導教員に確認すること。

※所属するコースの〈基礎セミナーⅠとⅡ〉、〈研究セミナーⅠとⅡ〉、〈卒業研究セミナーⅠとⅡと卒業論文〉の〈 〉内の科目は、原則同じ年次に同じ担当教員の科目を前後期継続して履修すること。

3) 自由選択科目

その他に『専門教育科目の選択科目』、『一般教育科目の選択科目』、『他学科の開放科目』、『図書館学に関する科目の中の卒業要件△印の科目』、および『本学と協定を締結している他大学の単位互換科目』から8単位以上履修すること。選択科目の履修については、P21を参照のこと。

●再度履修できる科目について

教育課程表のうち専門教育科目の再度履修欄に「可」とある科目は、何度でも履修できるが、卒業要件単位に加算できるのは1回分のみである。ただし、「Discussion Seminar1と2」、「英語学研究セミナーⅠとⅡ」、「英米文学・文化研究セミナーⅠとⅡ」は、取得した単位数すべて上限なく卒業要件単位に加算できる。

●段階制のある科目について

科目名のローマ数字(Ⅰ, Ⅱ)は段階制を表す。下位レベル(Ⅰ)を履修済みでなければ、上位レベル(Ⅱ)の履修は認められない。ただし「教科教育法Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ」は内容的に段階制をとらないため、このような制約を受けない。アラビア数字(1, 2)は段階制をとらない。

●「Overseas Study」について

「Overseas Study」を履修する際には、「Overseas Study Preparation」を必ず同年度に履修すること。

●英語活動等による単位認定について

A. 「English Certification A・B・C」はTOEIC/TOEFLスコアや英語関係の検定試験合格等により単位を認定するものである(4月または9月に履修登録する必要はない)。所定の条件を満たした場合、その年度の12月20日までに、「わたしの英語学習法(仮題)」とするレポート(800字程度)を提出し、単位認定を申請すること。学外で受験した結果も認定対象とする。その場合はスコアや合格証の写しを提出すること。

単位認定の条件は、英文学科掲示板で確認すること。

「カレッジTOEIC」の受験料は実習費から自動的に納付される。自分の英語力の目安となるので、必ず受験すること。

B. 「ERA (English Related Activity) Ⅰ・Ⅱ」は、英語に関する自主活動(英語を使ったボランティア

活動、春期もしくは夏期休業中の英語圏への短期留学等)に対して単位を認定する制度である。

単位認定の条件は、英文学科掲示板で確認すること。

●キャップ制について

キャップ制とは、授業の予習や復習など教室外において学習する時間を考慮し、単位の過剰登録を防ぐため、学期間・年間に履修登録できる単位の上限を設ける制度である。

1年度あたり登録できる単位数は、前期、後期それぞれ28単位、通年で48単位を超えてはならない。

●その他

- A. 4年間で卒業要件単位数より少なくとも8単位上回るように履修することが望ましい。
- B. 英文学科にかかわる連絡は、UNIPA および学科の掲示板(人文館4階ロビー)によって行う。重要な連絡等もあるので、毎日最低1回は確認すること。
- C. 「英語基礎科目」は小クラス(a)(b)(c)等に分かれて授業を実施する。クラス名簿は4月に英文学科掲示板に掲示する。
- D. 「Discussion Seminar」が、同年度に複数クラス開設される場合は、複数履修可能であり、すべて卒業要件単位に加算することができる。

3 取得できる免許と資格

英文学科の学生は、次の教育職員免許状と資格を取得することができる。取得方法については、「資格・免許」(P112～)を参照すること。

免 許：中学校教諭一種免許状(英語)

高等学校教諭一種免許状(英語)

資 格：司書教諭、司書

4 教育課程表の記号について

・「卒業要件」…卒業に関わる授業科目

・「免許・資格」…免許・資格取得に関わる授業科目

必修	◎
選択必修(複数の科目から指定の単位数を必ず選択する)	○
選択(卒業要件単位)	△
自由(卒業要件単位には含まれない)	◇
教職(中一種免・高一種免を両方取得希望者)必修	※

5 教育課程表

英文学科教育課程表

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格						
				1年次	2年次	3年次	4年次			英語(中学校)	英語(高校)	司書	司書教諭	学校司書		
M G U スタン ダード	◎	キリスト教	2	2												
	◎	キリスト教と現代社会	2			2										
	◎	基礎演習	2	2												
	◎	日本語演習	2	2												
	◎	女性と人権	2	2												
	◎	自然科学入門	2	2												
	◎	音楽の世界	2	2												
	◎	生活と福祉	1		1											
リベラル アーツ 基礎 科目	◎	リベラルアーツ基礎A	2	2				可								
	◎	リベラルアーツ基礎B	2	2				可								
	◎	リベラルアーツ基礎C	2		2			可								
	◎	リベラルアーツ基礎D	2		2			可								
	◎	リベラルアーツ総合A	2		2			可								
	◎	リベラルアーツ総合B	2			2		可								
	◎	リベラルアーツスタディーズA	2			2		可								
	◎	リベラルアーツスタディーズB	2				2	可								
教 育 目 的	◎	ライフワーク論	2			2										
	△	キャリア形成論	2				2									
	△	情報処理	2	2						◎	◎					
	△	日本国憲法	2			2				◎	◎					
外 国 語 科 目	○	ドイツ語コミュニケーションI	1	1						○	○					
	○	ドイツ語コミュニケーションII	1	1						○	○					
	○	ドイツ語リテラシーI	1	1												
	○	ドイツ語リテラシーII	1	1												
	○	フランス語コミュニケーションI	1	1						○	○					
	○	フランス語コミュニケーションII	1	1						○	○					
	○	フランス語リテラシーI	1	1												
	○	フランス語リテラシーII	1	1												
	○	中国語コミュニケーションI	1	1						○	○					
	○	中国語コミュニケーションII	1	1						○	○					
	○	中国語リテラシーI	1	1												
	○	中国語リテラシーII	1	1												
	○	朝鮮語コミュニケーションI	1	1						○	○					
	○	朝鮮語コミュニケーションII	1	1						○	○					
	○	朝鮮語リテラシーI	1	1												
	○	朝鮮語リテラシーII	1	1												
目 的	△	スキルアップドイツ語	1			1		可								
	△	スキルアップフランス語	1			1		可								
	△	スキルアップ中国語	1			1		可								
	△	スキルアップ朝鮮語	1			1		可								
	△	実践フランス語I	2		2			可								
	△	実践フランス語II	2			2		可								
	△	実践中国語I	2		2			可								
	△	実践中国語II	2			2		可								
体 育 目 的	◎	体育実技	1	1						◎	◎					
	△	体育講義	1		1					◎	◎					
	△	シーズンスポーツ	1			1		可		△	△					
	△	スポーツ	1			1		可		△	△					

同一外国語を
4科目4単位以上選択必修

英文学科

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格					
				1年次	2年次	3年次	4年次			英語(中学校)	英語(高校)	司書	司書教諭	学校司書	
専門	英 語	◎ Grammar 1	1	1						◎	◎				
		◎ Grammar 2	1	1						◎	◎				
		◎ Grammar 3	1		1					◎	◎				
		◎ Grammar 4	1		1					◎	◎				
		◎ Speaking 1	1	1						◎	◎				
		◎ Speaking 2	1	1						◎	◎				
		◎ Speaking 3	1		1										
		◎ Speaking 4	1		1										
		◎ Listening & Vocabulary 1	1	1						◎	◎				
		◎ Listening & Vocabulary 2	1	1						◎	◎				
		◎ Listening & Vocabulary 3	1		1										
		◎ Listening & Vocabulary 4	1		1										
		◎ Reading Activity 1	1	1											
		◎ Reading Activity 2	1	1											
		◎ Reading Activity 3	1		1										
		◎ Reading Activity 4	1		1										
		◎ Intensive Reading 1	1	1						◎	◎				
		◎ Intensive Reading 2	1	1						◎	◎				
		◎ Intensive Reading 3	1		1										
		◎ Intensive Reading 4	1		1										
		△ Academic Reading 1	2			2									
		△ Academic Reading 2	2			2									
		◎ Writing 1	1	1											
		◎ Writing 2	1	1											
		◎ Writing 3	1		1										
		◎ Writing 4	1		1										
		△ Academic Writing & Presentation 1	2			2					◎	◎			
		△ Academic Writing & Presentation 2	2			2					◎	◎			
		△ Discussion Seminar 1	2			2			可	複数科目履修可	△	△			
		△ Discussion Seminar 2	2			2			可	複数科目履修可	△	△			
△ Overseas Study Preparation	2			2											
△ Overseas Study	4			4			可								
△ English Certification A	2			2				スコア等で認定							
△ English Certification B	2			2				スコア等で認定							
△ English Certification C	2			2				スコア等で認定							
△ ERA I	2			2				ポイントで認定							
△ ERA II	2			2				ポイントで認定							
基礎	英 語	△ ことばと人間 1	2	2						◎	◎				
		△ ことばと人間 2	2	2						◎	◎				
		△ 英語音声学 1	2		2					△	△				
		△ 英語音声学 2	2		2					△	△				
		△ 心理言語学 1	2		2					△	△				
		△ 心理言語学 2	2		2					△	△				
		△ 生成文法 1	2		2										
		△ 生成文法 2	2		2										
		△ 生成文法 3	2			2									
		△ 生成文法 4	2			2									
		△ 英語の歴史 I	2		2						△	△			
		△ 英語の歴史 II	2		2						△	△			
		△ 英語教育 (TESOL) 1	2		2										
		△ 英語教育 (TESOL) 2	2		2										
		△ 英語教材研究	2			2									
		△ 語用論	2			2									
		△ コーパス言語学	2			2									
		△ 社会言語学 1	2			2					△	△			
		△ 社会言語学 2	2			2					△	△			
		△ 日英語対照研究 1	2			2									
		△ 日英語対照研究 2	2			2									
		△ 外国語としての日本語 1	2			2									
		△ 外国語としての日本語 2	2			2									
		科目	英 語	△ 英語学基礎セミナー I	2			2			英語学コースのみ履修可				
△ 英語学基礎セミナー II	2					2			英語学コースのみ履修可						
△ 英語学研究セミナー I	2					2		可	英語学コースのみ履修可 複数科目履修可						
△ 英語学研究セミナー II	2					2		可	英語学コースのみ履修可 複数科目履修可						

部門	卒業要件	授 業 科 目	単位	開設年次および単位				再度履修	備 考	免許・資格				
				1年次	2年次	3年次	4年次			英語 (中学校)	英語 (高校)	司書	司書 教諭	学校 司書
専 門 文 学 教 育 科 目	△	イギリスの生活と文化 1	2	2						◎	◎			
	△	イギリスの生活と文化 2	2	2						◎	◎			
	△	アメリカの生活と文化 1	2	2						△	△			
	△	アメリカの生活と文化 2	2	2						△	△			
	△	英米文学講読 (詩・演劇) 1	2		2					○	○			
	△	英米文学講読 (詩・演劇) 2	2		2					△	△			
	△	英米文学講読 (小説・批評) 1	2		2					○	○			
	△	英米文学講読 (小説・批評) 2	2		2					△	△			
	△	英米文学の世界 (15-18世紀) 1	2			2								
	△	英米文学の世界 (15-18世紀) 2	2			2								
	△	英米文学の世界 (19-21世紀) 1	2			2								
	△	英米文学の世界 (19-21世紀) 2	2			2								
	△	イギリス文学史 I	2				2			○	○			
	△	イギリス文学史 II	2				2			○	○			
	△	アメリカ文学史 I	2				2			○	○			
	△	アメリカ文学史 II	2				2			○	○			
	△	イギリス文化史 1	2		2					○	○			
	△	イギリス文化史 2	2		2					○	○			
	△	アメリカ文化史 1	2		2					○	○			
	△	アメリカ文化史 2	2		2					○	○			
	△	文化交流論 1	2			2				◎	◎			
	△	文化交流論 2	2			2				△	△			
	△	文化研究 (オーストラリア・カナダ) 1	2				2							
	△	文化研究 (オーストラリア・カナダ) 2	2				2							
	△	英米マスメディア論 1	2				2							
	△	英米マスメディア論 2	2				2							
△	英米文学・文化基礎セミナー I	2			2			可	英米文学・文化コースのみ履修可 複数科目履修可					
△	英米文学・文化基礎セミナー II	2			2			可	英米文学・文化コースのみ履修可 複数科目履修可					
△	英米文学・文化研究セミナー I	2				2		可	英米文学・文化コースのみ履修可 複数科目履修可					
△	英米文学・文化研究セミナー II	2				2		可	英米文学・文化コースのみ履修可 複数科目履修可					
◎	キャリアデザイン	2			2				ポイントで認定					
◎	卒業研究セミナー I	2					2							
◎	卒業研究セミナー II	2					2							
◎	卒業論文	4					4							
教 育 関 連 の 科 目	◇	教育原理解	2	2						◎	◎			◎
	◇	教育制度論	2	2						◎	◎			◎
	◇	教職概論	2	2						◎	◎			
	◇	教育心理学	2		2					◎	◎			◎
	◇	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2		2					◎	◎			
	◇	特別支援教育論	1		1					◎	◎			◎
	◇	教育課程論	1		1					◎	◎			
	◇	道徳教育の理論と方法	2		2					◎	△			
	◇	特別活動の理論と方法	1		1					◎	◎			
	◇	総合的な学習の時間の指導法	1		1					◎	◎			
	◇	生徒指導 A (進路指導を含む)	2		2					◎	◎			
	◇	教育相談	2			2				◎	◎			
	◇	英語科教育法 I	2		2					◎	◎			
	◇	英語科教育法 II	2		2					◎	◎			
	◇	英語科教育法 III	2			2				◎	△			
◇	英語科教育法 IV	2			2				◎	△				
◇	教職実践演習 (中・高)	2				2			◎	◎				
◇	教育実習 A (事前事後指導を含む)	5					5		◎	※				
◇	教育実習 B (事前事後指導を含む)	3					3			◎				

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格				
				1年次	2年次	3年次	4年次			英語(中学校)	英語(高校)	司書	司書教諭	学校司書
図書館学に関する科目	甲群	◇生涯学習概論	2			2						◎		
		△図書館情報学概論	2		2							◎		
		◇図書館情報技術論	2		2							◎		◎
		◇図書館制度・経営論	2			2						◎		
		△図書館サービス概論	2		2							◎		
		△情報サービス論	2			2						◎		◎
		△児童サービス論	2		2							◎		
	乙群	△情報サービス演習Ⅰ	1				1					◎		◎
		△情報サービス演習Ⅱ	1				1					◎		◎
		◇図書館資料論	2				2					◎		◎
		◇資料組織法概説	2			2						◎		◎
		◇資料組織法演習A	1			1						◎		◎
		◇資料組織法演習B	1			1						◎		◎
		◇データベース特論	1				1					○		
司書教諭に関する科目	◇専門資料論	2			2						○			
	◇図書・図書館史	2			2						○			
	◇学校図書館サービス論	2			2						○		◎	
	◇学校経営と学校図書館	2			2							◎	◎	
	◇学校図書館メディアの構成	2			2							◎		
計	◇学習指導と学校図書館	2			2							◎		
	◇読書と豊かな人間性	2			2							◎		
	◇情報メディアの活用	2			2							◎		
	一般教育科目	71												
	専門教育科目	176												
教職に関する科目	38													
図書館学に関する科目	29													
司書教諭に関する科目	10													
合計	324													